

# 「滋賀県における女性の参画による防災力向上のための提言」概要

- ①県をはじめ各取組主体が、「目指すところ」に向かって、自ら必要な取組を積極的に進めるよう希望する。
- ②残された課題や、社会環境の変化に伴う新たな課題も含め、適切な体制で検討されるよう提案するとともに、県をはじめ各取組主体が、懇話会での議論で言及された取組や、これらの課題の解決に向けた議論や取組を速やかに進めるよう要請

## 課 題

### I 女性の参画の不足

○これまでの防災対策は、健常な男性の視点で考えられてきたため、女性をはじめ多様な当事者の意見を反映する機会が少ない。また、計画策定や避難所リーダー会議への女性の参画が不足。

### II 地域ごとの防災活動が十分進んでいない。

○以下のような地域では、「共助」の防災活動が進んでいない。

- ・女性や若い世代が地域活動に積極的に参画していない地域
- ・自治会が結成されていない新興住宅地
- ・人口減少や高齢化が進んだため自治会活動がままならなくなった地域

○自然環境や災害リスク、地域コミュニティの実状等によって抱えるリスク・実状が異なる。

### III 災害時に支援を必要とされる人が多数発生

○大規模災害時には、平時から配慮を要する人に加えて、急激な環境の変化に伴い、新たに支援を必要とされる方が多数発生する見込み

○物理的または心理的要員から、住民の避難が迅速に行われない。

○災害時の負傷、医療・介護サービスの不足、制約の多い避難生活に伴う体調の不調等に起因する災害関連死の発生

### IV 一部の人以上で防災に取り組んでいる。

○自治会役員や自主防災組織等のメンバーだけ（男性中心）で防災活動に取り組んでおり、取組の裾野を広げる必要あり。

○多くの人は、防災に関心がありながらも、防災活動への参加につながらない。

○地域コミュニティとの関わりが薄くなりがちな人も取り込む必要あり。

○地域から離れた県内の事業所・学校に通勤・通学する人への防災教育の機会の確保をどうするか。

## 目指すところと取組

（行政、地域、防災関係組織・団体、支援組織・団体、事業所）

### I 女性たちも地域防災の主体になっている。

○女性リーダーの育成・ネットワーク構築および女性が防災活動に取り組みやすい環境整備

○防災会議等における女性の参画比率の向上策の検討

○男女共同参画の視点を取り入れた防災講座の実施、防災啓発資料等の点検・見直し 等

### II 地域の特性を踏まえた、災害に強いコミュニティが形成されている。

○SNS等を活用した、生活防災に関する情報共有の環境（プラットフォーム）整備

○地区防災計画の策定等を通じた災害に強いコミュニティづくり

○防災の要素を取り入れた、楽しめる地域行事 等

### III 災害時に誰も取り残さない取組が進んでいる。

○避難行動要支援者を対象とした避難支援計画の実証訓練等のモデル事業

○要配慮者、行政、地域等によるネットワーク構築

○早期避難につながる方策の調査・研究・実践

○避難生活の質の改善による災害関連死の予防

○被災者の早期の生活再建につながるサポート 等

### IV 多様な主体が地域防災の担い手になっている。

○女性たちが参加しやすい防災学習・訓練手法の調査・研究・実践

○学校以外の場（子ども食堂、放課後児童クラブ等）を活用した、子供の頃からの防災教育の推進

○県内事業所において、防災に関する啓発・実践の推進 等

## 今後に向けて

○残された課題（注）や社会環境の変化に伴う新たな課題も含め、適切な体制での検討を提案

○県をはじめ各取組主体が、懇話会での議論で言及された取組やこれらの課題の解決に向けた議論・取組を速やかにすすめるよう要請

（注）残された課題

・災害時の女性の人権侵害事案（避難所での性被害、DV、違法な解雇等）の予防策

・LGBT等への配慮

・災害ボランティアのあり方

・迅速な避難を促す方策

・災害関連死を出さない避難生活のあり方 等